

Introduction

紫陽花は二度咲く

紫陽花(アジサイ)は、二度咲きます。6月の代表的な季題であり、梅雨の風景の代名詞のような花で、誰もがすぐに思い浮かべることができる花の一つでしょう。

気象庁の生物季節観測…「サクラの開花日=桜前線」などで有名…には、アジサイの開花について「アジサイの開花日」と「アジサイ装飾花の開花日」の二つの項目があります。

私たちが、アジサイの花(花手鞠のように見えるもの)と思っているものは、生物学的には『装飾花』と呼ばれているものであり、おしべやめしべが小さく退化し、『がく』が花びらのように大きくなった「飾り」のためだけの花です。

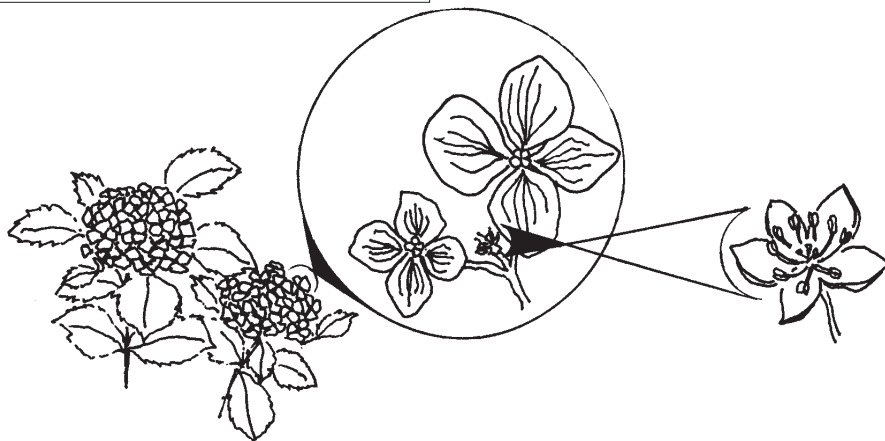
それでは真の花=『両性花』は、どこにあるのでしょうか。

それは、ちょうど『装飾花』によって作られる花手鞠の内側にひっそりと咲きます。ちょうど、この「四季」が配付される時期には、青く色付いた装飾花の内側で青く丸いつぼみをつけているはず。装飾花をひっくり返して覗いてみてください。

気象庁の生物季節観測が対象にしているのは、本校でも咲いているアジサイ(ホンアジサイ)ですが(アジサイは1種類ではない)、『装飾花』と『両性花』では開花時期に10日ほどのズレがあります。『両性花』より『装飾花』の方が10日以上も早く開花するのです。装飾花の開花日は、一つの花手鞠の一部が咲き始めたぐらいの時ですが、両性花の開花を直接調べるには、咲きそろう装飾花をひっくり返して確認しなければなりません。2つの開花日のうち、生物季節観測で必ず調べなくてはならない『規定』の項目になっているのは、実は目立たない『両性花』の方です。



アジサイ『紫陽花』*Hydrangea macrophylla*



(Miyahashi)

志木の自然[卯月(4月), 皐月(5月), 水無月(6月)]

Plants [2005年4月~2005年6月までの記録]

この時期の志木高は、膨大な種類の花が咲く。今年はホウノキが花をつけているのを見つけた。本校で確認できている大樹は1本きりだが、大輪の花を咲かせる。この時期の花は白色が目立つが、実は、葉裏でひっそりと咲くものが多かったりもする。コウゾ、アケビの花等、よくよく注意していなければ見逃してしまう。

Grass

- 14th Apr. 2005 カキドオシ, コオニタビラコ, クルマムグラ, タチイヌノフグリ, ヒトリシズカ, キランソウ開花.
- 21st Apr. 2005 ハルジオン, ヤエムグラ, ミドリハコベ, フデリンドウ, トキワハゼ, ヤブジラミ開花.
- 29th Apr. 2005 ツボスミレ, シロツメクサ, コメツブツメクサ, アメリカフウロ, キュウリグサ開花.
- 6th May. 2005 チチコグサ, ホウチャクソウ, オオジシバリ開花.
- 19th May. 2005 イヌガラシ, コヒルガオ, イヌタデ, ニワゼキショウ, オオバコ, ギシギシ, ツボミオオバコ開花.
- 26th May. 2005 ノビル, トキワツユクサ開花.
- 9th Jun. 2005 ノミノツヅリ, ハキダメギク, ヤブガラシ開花.

Wood



この限られた紙面では、名前の出ている植物や動物がどのようなものであるかをお示しする事は不可能です。名前を手がかりにぜひ図書館で一度調べてみてください。

(Miyahashi)

梅雨到来

もう梅雨前線が日本の南海上付近までやってきています。関東地方の梅雨入りの平年値※は6月8日頃、梅雨明けは7月20日頃、梅雨期の降水量の平年値は269mmです。今回は、1999～2004年の志木校における降水量に注目しました。

表は6月8日～7月20日の43日間の降水量の積算値です。降水量の面から見ると、1999年と2000年は陽性タイプ、2003年は陰性タイプと言えそうです。梅雨の陽性タイプとは高温で好天の日が多く、雨天の時には大雨になりやすい変化が激しい場合です。陰性タイプとは、低温で弱い雨が持続的に降ったり曇ったりして悪天が継続する場合です。

実際には、2000年7月8日の降水量は1日で132mm、1999年は7月13～14日で134mmを記録しています。一方、2003年は43日中27日間雨が降り、降水日数に対する雨量が6.4mm/日と過去6年間で最も少ない結果でした。この他にも、降水量は6月よりも7月に多く、特に7月10日前後の一週間は非常に多い。7月20日は過去6年間1mm以上の降水はない(だから「海の日」になったのか?…今年は月曜日に寄せられて18日だが)。梅雨に入ると一週間後には天気が良くなるなどと言うが、確かに6月16日は過去6年間に1mm以上の降水はなかった。などと、いろいろなことがわかります。

今年の梅雨はどうなるのか。大雨が続き災害が起こってしまっても困りますし、2001年や2004年のような少雨でも困りますし、なかなか厄介な「梅雨」なのです。

※梅雨入りと梅雨明けは、ある日を境に明瞭に変化することなく、二つの季節が交互に現れる遷移期間を経るため「～頃」としました(1971～2000年の平均値)。

表 1999～2004年6月8日～7月20日の降水量積算値、降水日数

年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	平均
[mm]	434	425	84	276	173	102	?	249
[日]	22	19	9	21	27	13	?	18.5

(Higuchi)

首都圏直下型地震は来るか

Seismography

最近、授業で『地震』を扱っているせいか、「関東大震災って来るんですか?」とよく聞かれます。そして「いつ来てもおかしくないと思います」とお答えすることにしています。地震に備えるということは一種の保険です。起こった時に「備えていて良かった」と思えるか否かの違いです。しかし、二年前に日本地震学会の主催で国立科学博物館で『地震展』が開かれ、今年の2月に政府が首都圏直下型地震発生時の被害損失額を計算し直したという流れを考えると、関係者の多くは上記のように考えているのでしょう。

第2学年地学履修者の諸君には既に、防災に関する具体的なお話をしましたが、①防災用品の備えはあるか、②地域の広域避難場所は家族全員がわかっているのか、③家族の中の災害弱者(=乳幼児、老人)のサポートは誰がするか決めてあるのか、などは全員が一度は考えておくべきことです。また、自分の住んでいる自治体の防災計画を知っていることも大切です。夏休み前に是非一度、ご家族で話し合ってみてください。

【東京】<http://www.metro.tokyo.jp/SAIGAI/SAITAI/SHOUSAI/XOCBP100.HTM>

【埼玉】<http://www.pref.saitama.lg.jp/bunya/bunya-bosai.html>

【千葉】http://www.pref.chiba.jp/syozoku/a_bousai/taisaku/keikaku/

【神奈川】<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/bosai/index.htm>

(Miyahashi)

四季折々(四く六月の俳句)

草陰のその草陰の蛇莓

十薬をばすんばすんと雨打てる

躑躅むらおとろひそめし雨の日々

柿の花咲き残りつ、黄ばみつ、

雨粒の銀をやどして萩若葉

馬鈴薯の重なり咲いて風すこし

英

今回の俳句は、本井英先生に作句をお願いしました。植物を季題にしたものと、季節柄雨が詠われているものを掲載しました。

「萩若葉」、「躑躅(つづじ)」は四月の季題、「十薬」、「柿の花」、「蛇莓(へびいちご)」、「馬鈴薯の花」はそれぞれ六月の季題です。「十薬(じゅうやく)」は『トクダミ』のことであり、古より、根、茎、葉、共に薬用に供されることから、十薬の名が冠せられたものと思われます。「蛇莓」と共に本校では、ごく普通に見かける植物です。

解説文 文責 宮橋

執筆・担当区分	俳句	本井 英 (Motoi)
	動物・環境	井澤 智浩 (Izawa)
	天文・気象	樋口 聡 (Higuchi)
	鳥類・植物	速水 淳子 (Hayami)
	植物・小動物[&発行責任]	宮橋 裕司 (Miyahashi)